

## 会 議 録

### 1 会議名

平成 29 年度第 1 回新道区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

(1) 平成 29 年度地域活動支援事業について（公開）

・採択決定までのスケジュールの確認について

(2) 今年度のスケジュールについて（公開）

(3) 自主的審議について（公開）

### 3 開催日時

平成 29 年 4 月 20 日（木）午後 6 時 30 分から午後 7 時 25 分まで

### 4 開催場所

新道地区公民館 多目的ホール

### 5 傍聴人の数

なし

### 6 非公開の理由

なし

### 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委 員：秋山茂（会長）、浦野憲一（副会長）、金井秀雄、金子八重子

高橋由美子（副会長）、田中正一、塚田みさ尾、船崎 聡

水野恵一郎、森 紀文、吉田文男、吉原ゆかり （欠席 2 人）

・事務局：中部まちづくりセンター：山田センター長、野口係長、田中主事

### 8 発言の内容

#### 【野口係長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

#### 【秋山会長】

・会議録の確認者：水野委員

「(1) 平成 29 年度地域活動支援事業にかかる採択決定までのスケジュールの確認について」事務局に説明を求める。

【野口係長】

・資料No.1 により説明

【秋山会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

「(2) 今年度のスケジュールについて」事務局に説明を求める。

【野口係長】

・資料No.2 により説明

【秋山会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

このスケジュールでよいか。

(「よし」の声)

次に、意見を求める。

【田中委員】

自主的審議の中で、「芙蓉荘・富岡児童館等施設の今後について」とあるが、これは新道区の公の施設がほとんど入っていると考えてよいのか。

【野口係長】

公の施設の再配置計画のなかで、これらの施設がうたわれているかと思う。これらの今後の在り方については、どうしたらよいかという課題提案が北部からあった。それを含めて、自主的審議の例示として書かせていただいた。

【田中委員】

わかった。

【秋山会長】

次に「(3) 自主的審議について」事務局に説明を求める。

【野口係長】

・資料No.3 により説明

**【秋山会長】**

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

**【浦野副会長】**

先日の事前打ち合わせの中で、「1. 検討していきたい事項」の中の自主審議テーマということで、南部・中部・北部にエリア別に、新道地区町内会長連絡協議会（以下、「町内会長協議会」と言う。）との意見交換にて問題点を出してもらい、絞ったものがここに書かれている。

3地区の区分けをしてしまうと、新道区全体を対象エリアとする地域協議会の意味が薄れてくる反面、3地区に分けないと細かいところに気付かないだろうという点もある。

小学校区単位、つまり北部は富岡小学校区、南部は稲田小学校区という大まかな分け目にしてみてはどうかと思う。中部の水野委員も近々南部に転居する予定と伺っており、中部の委員は特に少ない。

また、中部と南部の絞られた自主審議テーマも大枠では似ている気がする。課題の呼び方は別に考えるとして、中部と南部を一緒にして共通課題を整理していったらどうかと考えるので、ご意見等お願いしたい。

**【金子委員】**

2月の町内会長との情報交換会についてだが、年に1回だけ検討して、地域の課題がどう解消されていくのか。せっかく検討していきたい課題を決めて、これから地域の人たちと私たちがどうかかわっていけばいいのか。ただ、取組を決めただけで、どう一歩を踏み出していくのかが不安だ。

**【秋山会長】**

今の質問は、町内会とのかかわり方が分からないということか。

**【金子委員】**

町内会長さんとの集まりで、せっかく検討していきたい事業等を決めて、これから地域の方との取組をしなければいけないのに、町内会長さんとの話し合いが年1回だけでいいのかということだ。

**【秋山会長】**

9月から11月の間に1回会議を開いて、年度末までには合計2回くらいは開きたいということか。

**【金子委員】**

私たちが提案したことが、町内会長たちで進めていってもらえればそれでよいのだが、1年間通してずっと、同じかたちのままだと進歩しないのではないかと思う。

**【浦野副会長】**

金子委員の言われたとおりだと思う。町内会長との話のなかで、こういうものを捉えて支持していくといくことを、町内会長を通じて学校区などに連絡してもらわなければいけない。なので、忙しいだろうけど、地域活動支援事業の採択が終わる、7月くらいに町内会長との情報交換会を開催して、話を詰めて、11月末か12月頃に結論を報告会のようなかたちで行ってはどうか。ただ、町内会長には3回も集まってもらわなければいけないのだが。

**【田中委員】**

町内会長協議会では、7月に研修会があるので、その中で時間がとれれば可能だ。

**【浦野副会長】**

そういう集まりに、少し時間を割いていただいて、問題点を話させてもらえれば、解決できるようになるのではないか。やみくもに我々だけで話して、町内会長は考えていないというのもうまくないと思う。

**【田中委員】**

今、一番問題になっているのは、市高齢者支援課、社会福祉協議会から来ている「地域支え合い事業」で、2年後には地元で受託してくれという話がある。町内会長協議会に何とかしてくれと言われていて頑張らなくてはいけませんが、地域協議会にも協力してもらわなければいけない。さらには老人会連合会などからも協力してもらわないと、町内会長協議会だけでは難しい。是非、地域協議会の委員からも協力をお願いしたい。

**【浦野副会長】**

今、町内会長協議会の会長も兼ねている田中委員が言われたように、今、市では地区ごとに地域福祉会みたいなものを立ち上げて欲しいという話である。今、皆さんの3つの地域から検討していきたい事項のなかに、中部や南部では、そういうことも含まれているのではないかと思うので、地域協議会でもある程度、参画をしていくべきだと考えている。この事業の内容は、一言でいえば、介護施設に入所したり要介護になる一歩、二歩前の健康な状態でいましょう、という地域福祉を目指すことである。そういった皆さんとの集まりだということで、中部と南部は富岡児童館で、北部は芙蓉

荘で毎週金曜日に、社会福祉協議会と市高齢者支援課でサロン事業をしている。そこから辺のところをまとめて、地域協議会の皆さんからも理解していただき、委員であるという自覚を持っていただけるとありがたい。気運を高めていくためにも、中部・南部の皆さんが出された意見が、こういうものにも関係してくるという気がする。

**【田中委員】**

このサロンは、参加者が各会場 10 人程度で固定されている。恐らく、ショートステイやデイサービスに行くような感じを持っていて、気が引けているようだ。また、会場までの交通手段がないために行けないという一番の問題も出ている。

**【浦野副会長】**

市では、ある程度組織が固まって、参加者が集まれば、場所が 1 か所では大変だから、今の 3 つの会場にしても、9 人乗りくらいのワゴン車を用意したり、事務局として専従スタッフを 1 人用意したりするなどの財政支援はできるとしている。だが、今の段階ではそこまでいっていないし、そこまでいくのが大変だろうということになるので、地域協議会委員の力を借りたいということであろうと思う。いずれにしても難しい問題なので、すぐというわけにはいかないが、そういうものを鑑みながら審議していただけたらということだと思う。

**【秋山会長】**

金子委員から不安だという懸念がありましたし、田中委員からは町内会長は忙しくて、スケジュール調整が必要だと思うが、この件に関しては少し時間をいただき、正副会長と相談していきたいと思う。

**【船崎委員】**

この話に関連するかどうかは分からないが、新道地区全体で一番大切なことは何かということを経済協議会で諮っていくことも大事だと思う。

私が一番大切だと思うのは、道路整備である。上越市も、県も関係するし、下手すれば国もしかりだ。一般県道板倉直江津線は、武道館ができればある程度は良くなるかもしれないが、それだけでは足りないと思う。前にも少し話したが、河川敷を市道なり県道なりの大規模な事業で整備していかなければいけないと思う。

今の福祉関係で言うと、町内会長協議会に話をおろしても、個々の町内ではあまり関心がないというところが問題だと思う。町内の健康ウォークがあるが、それほど参加者がいないと思う。例えば、稲田小学校区と富岡小学校区で分かれて、町内全体で

半強制的に「皆さんと一緒に歩きましょう」という日を設けるなどして話し合っていけばよいと思う。できれば年に2、3回ではなく、もっと町内会長協議会と連絡しなければいけないと思う。

【田中委員】

健康ウォークは町内会長協議会が絡んでいるが、やはり稲田小学校に来てみると稲田から上<sup>かみ</sup>の人が多。北部の住民は私が参加しているくらいで、他の町内会長は我関せずだ。やはり町内会長が意識の改革してもらわないと町内の住民は動かない。

【船崎委員】

年に何回あるのか。

【田中委員】

春と秋の年2回である。

【吉田委員】

私は子安新田町内会長も務めているが、それ以外に毎週水曜日の朝5時30分から6時まで、8月末まで欠かさずやっている。役員会のときには声かけをしているし、回覧を回してもなかなか見る人も少ないということで難しいとは思いますが、せっかくの機会だし、健康のためなので、子安新田町内会では継続して取り組んでいきたいと思っている。

【田中委員】

これからは、男性だけだとなかなか無理である。最近は女性の町内会長も出てきたので、女性の委員の皆さんに協力してもらえたらと思う。

【秋山会長】

他に意見などあるか。

【吉田委員】

北部・南部・中部の3つに分けるのは、あまり良くないという気がしている。それぞれの地域特性があるのは分かるが、それが今後につながるのかということになると、そうではないと思う。できれば3つに分けずに新道地区1つで進めていった方が、よりよいと思う。イベントをするにしてもいろいろな問題が出るかもしれないが、それは話し合いを重ねれば解決できると思うので、話の進め方は変えていった方がよいと思う。

【秋山会長】

事前の正副会長との打ち合わせでも話が出たが、稲田小学校区と富岡小学校区の 2 つに分けて、慣れてから 1 つに持っていった方がよいのかなと思う。

**【吉田委員】**

私の町内は他の町内よりも行事が多い。別に行事をつくると協議会委員も忙しくなるし、町内の人も「またか」と思うだろう。一方、町内会は町内の活性化やまとまりも大事にしたいので、そこら辺のバランスが課題だという気がする。

**【田中委員】**

事務局に質問だが、新道区以外に分かれている区はあるのか。

**【山田センター長】**

津有区が北部と南部で分かれている。これは上雲寺小学校区と戸野目小学校区によるものだ。津有区にも地域のいろいろな課題があるが、協議会としては全体的な課題を話していこうということだ。

**【田中委員】**

津有地区は農村部が多いからまとまりがよいと思う。新道区は南部・北部・中部で地域差があるので、バランスをとるのが難しい。

**【吉田委員】**

逆にそういう区分けを設けるから、バランスがとれなくなってしまう。

**【浦野副会長】**

市に意見書を出すとなると、新道の北部とか南部とかではなく、新道区の 1 つの意見として出さないと通用しないだろう。とりあえずは学校単位で話があるのだろうが、全体的に 1 つにまとめながら話すことが重要だと思う。

先ほど津有区の話が出たが、新道区の場合は北部・南部・中部はどこでどういうふうに分けたのかはわからない。あまり北部・南部・中部で分けなくて、今後は新道区として 1 つがよいと思う。新道区全体の協議会であるという考え方でないと、なかなか意見の統一はできないと思う。

**【田中委員】**

結局、町内会長協議会でも昭和 43 年ころからお互いに各地区から役員を出しあってやってきた経緯もある。

**【秋山会長】**

今ほどの件については、課題として検討させていただきたいと思う。

他になれば、「その他」の「次回の開催日の確認について」、事務局に説明を求め  
る。

**【野口係長】**

- ・次回の協議会：5月19日（金）午後6時から 新道地区公民館 多目的ホール
- ・事務局の人事異動について報告

**【秋山会長】**

- ・閉会の宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-5111（内線1449、1547）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。